

## 歴史を紐解く

# 烏山城跡調査現地説明会

市が平成21年度から調査を進めてきた烏山城で、11月23日、「平成24年度烏山城跡発掘調査」の現地説明会が開催されました。

烏山城は応永(おうえい)24年(417)に那須氏の一族、沢村五郎資重(さむらごろうすけしげ)によって築城されたと言われている山城です。

昨年は震災や台風の影響で土塁などが崩落したため、発掘調査も一部のみしかできず、立ち入りも危険なため、説明会を断念。今年度

は本丸入口周辺の遺構の保存状況を確認するための調査を実施し、その結果を解説したものです。当日は、小雨がちらつくなか、市内外で待ち望んでいた80人が、現地にかけてきました。

栃木市から来た小久保さん夫婦は、全国の城跡を訪ねるのが趣味で「烏山城も全国で負けないほどの魅力がある。これからの調査結果も非常に楽しみ」と、烏山城に厚い期待を寄せています。



集まった大勢の参加者。



説明会終了後にも多数の質問。

## ふれあいガイドの会 郷土ボランティアの集い

那須烏山ふれあいガイドの会(大森茂宏会長)による「第21回栃木県郷土ボランティアの集い」が、10月18日、烏山公民館で開かれ、県内の観光ボランティアグループ12団体の約100人が、本市で一堂に会しました。

当日は、記念撮影をしたあと、参加団体の自己紹介や活動報告がありました。昼食を兼ねた交流会のあとには、城下町めぐりや近代化遺産めぐりなど、参加者が4つのコースに分かれ、市内散策を楽しむものでした。

参加者には、山あげ祭で実際に使われた山の和紙を使ったしおりや、地酒などが贈られました。



4コースに分かれて市内を散策。

## スポーツ選手活用体力向上事業 荒川中でバスケットボール教室

市教育委員会では、11月12日、「スポーツ選手活用体力向上事業バスケットボール教室」を荒川中学校体育館で開きました。この事業は、普段運動をしない生徒たちにスポーツの楽しさを伝え、スポーツを始めようことを目的としています。

当日は、同校2年生57人の生徒が、バスケットボールの指導を受けました。講師は、全日本総合選手権で優勝するなどの経歴をもつ元プロ選手の小宮邦夫さんでした。小宮さんは、生徒たちにボールに慣れるための基礎的な運動や、ミニゲームを通してバスケットボールの魅力を伝えました。生徒たちは、次々と与えられる課題



バスケットの魅力伝える小宮さん。

に悪戦苦闘でしたが、徐々にボールの扱いにも慣れ、シュートを決める喜びなどを感じていたようです。

## 第7回市育樹祭

# 児童たちが枝払いを体験

市と市緑化推進委員会では、11月12日、子どもや市民に緑や森林に対する理解を深めてもらおうと、江川小学校を主会場に「第7回那須烏山市育樹祭」を開きました。今年のテーマは「水と緑のふるさとづくり」でした。

当日は、江川小と荒川小の5年生児童や教員、各種団体、一般市民など150人が参加しました。式典では、マロニエメイツの柳川綾乃さんが「緑のメッセージ」を披露。その後、参加者が江川小に隣接する「愛町の森」で、



「緑のメッセージ」を披露するマロニエメイツの柳川さん。

市林業振興会員の指導を受けながら、間伐したヒノキの枝払いを体験しました。体育館へ移動し、トチノキを使った「マイ箸」作りにも挑戦しました。



交替で乳しぼりを体験。

## 酪農体験事業

# 境小児童が乳しぼり体験

酪農組合青年部・小森崇弘代表では、11月28日、境小学校で酪農体験事業を開き、同校3・4年生の児童が、牛の乳しぼりやバター作りに挑戦しました。子どもたちは、大きな牛に緊張した様子でしたが、

徐々に慣れてきたようです。小森代表は、「しぼりたてのミルクの温かさを感じて欲しい。生産の体験を通して、食べ物への感謝の気持ちを育んでもらえれば」と話していました。

# 七合保育園児がみかん狩り

七合保育園児が、11月20日、国見山みかん園（小森義男代表）でみかん狩りを体験しました。当日は、園児30人が、日当たりの良い急斜面のみかん畑で、た

わに実ったみかんを丁寧にもぎ取りました。その場で試食も行われ、「甘い」という声が聞こえてきました。

小森さんは、「多くの子どもたちに、自然の中で、みかんをもぎ取る感触を実感してほしい」と話していました。



ノコギリを使って枝払いを体験。

## 学校給食で おいしい地元の牛肉を

11月28日、市内全小中学校の給食に地元で生産された牛肉を使ったビーフシチューが献立に登場しました。子どもたちは、大好きなメニューの登場に満面の笑みでした。

これは市とJAなす南が協力し、「地元和牛食材提供事業」として実施したものです。地産地消や食育の推進などを目的としています。

この事業は、来年2月に第2回の開催も予定されており、その時のメニューは牛丼です。子どもたちの「おいしい」の連発をまた聞けるのが楽しみです。



ビーフシチューを味わう（江川小）。



みかん狩りを体験する園児。

## 第7回健康福祉まつり

# 楽しみながら健康や福祉に触れる

健康・福祉への関心を高め、年齢や障がいを超えた交流の輪を広げようと「第7回健康福祉まつり」が、11月4日、保健福祉センターで開催されました。

この催しは、「健康はみずから歩く一歩から、心で結ぼう福祉の輪」をスローガンに、社会福祉協議会を中心とする実行委員会が開いたものです。当日は、市内のボランティア団体等による各種模擬店の出店や健康福祉体験、作品展示など盛りたくさんの企画が行われ、天候にも恵まれた会場には、多く

人が訪れました。なかでも、昨年から実施しているスタンプ&クイズラリーは、老若男女楽しめる参加型イベントで、健康に関する知識を分かりやすく学べると好評でした。緑化推進の苗木配布も行われ、ブルーベリーとレンギョウの苗木750本が、大谷範雄市長やマロニエメイツなどから来場者に手渡されました。

なお、バザーや模擬店などの収益は、社会福祉協議会の善意銀行に寄付され、福祉団体の活動などに活用されます。



自分の健康状態をチェック。



泣いても頑張る(トコトココンテスト)。



ダニエル・カール氏の講演。

当日は、タレントで山形弁研究家のダニエル・カール氏が、「オラの愛する元気な日本」と題し講演しました。「日本は面積は

## 生涯学習まつり・文化講演会

### ダニエル・カール氏が「日本」を語る

市・教育委員会文化協会による「生涯学習まつり・文化講演会」が、11月25日、南那須公民館で開かれ、市民250人が参加しました。

小さいが、方言や食文化など、バラエティに富んだ国。四季も素晴らしい」と話し、山形弁で参加者の笑いを誘うものでした。伝統芸能育成事業の発表では、



下境小宅流獅子舞保存会の発表。



下境佐々良獅子舞保存会の発表。



大谷市長とマロニエメイツが苗木を配布。



スタンプラリー楽しかったね。



埴の天祭保存会の発表。

下境小宅流獅子舞保存会、下境佐々良獅子舞保存会、埴の天祭保存会の3団体が、これまでの活動の成果を披露。1階ロビーでは、公民館活動による作品の展示や人権教育啓発のDVD放映なども行われました。

# 家族で にぎわう こども館まつり

こども館まつりが11月23日、同館で開催されました。当日は、あいにくの雨で屋外イベントが一部中止となりましたが、館内は家族連れで大にぎわいでした。

イベントは子どもが夢中になるものばかり。さかな釣りゲームや輪投げゲーム、絵本の読み聞かせなどに子どもは大喜びでした。なかでも「生きがいの郷か

らすやま」のお年寄りと一緒に遊ぶオセロゲームの部屋は、常に笑い声が響いていました。午後には、ステージショー「みんなが歌って踊ろう！」を屋内で実施しました。姫レンジャーの華やかな踊りに会場から歓声があがりました。



お年寄りと一緒にゲーム。



盛り上がった姫レンジャーショー。



上…的に当たるかな。  
左…大行列の和牛試食。

## JAまつり 地元産食材に舌鼓

「明日への希望協同の力」をスローガンにJAまつりが、11月3日と4日の2日間、JAなす南本店で開催され、多くの家族連れでにぎわいました。特に人気が高かったのは、コシヒカリの試食コーナーや牛

肉・豚肉の消費拡大コーナーでした。「とちぎ和牛」の試食では、多くの人が地元産の食材に舌鼓を打ちました。にっこり梨の皮むき大会や早食い大会、がらまきなど趣向を凝らした各種イベントも盛況でした。

## 子どもの生活リズムを考える 親子で楽しく団子作り

市婦人会(柳田京子会長)では、10月27日、子どもの生活リズム向上推進事業「親子で団子作り」をこども館で開き、親子連れや小学生、関係者など150人が参加しました。

当日は、参加者が米粉の団子を作り、それを味わいました。作新大学の学生によるアンパンマンショーも好評でした。柳田会長は、「子どもたちの基本的な生活リズムをみんなで考えていきたい」と話していました。



手作り団子を味わう。

## 商工会まつり&軽トラ市

那須烏山商工会では、11月3日、山あげ会館周辺で第5回商工会まつりと「スー爺サンタ」の軽トラ市を開き、多くの来場者で会場がにぎわいました。

今年は、自動車メーカーのズキ(株)会長兼社長が講演会で紹

介し、県内で展開されている軽トラ市や、地元陶芸家の作品展販売を初企画。各種団体等による模擬店、ステージ披露、消防車展示や抽選会等のイベント、建設業部会・工業部会コーナーなども人気でした。



初企画の軽トラ市。



地元陶芸家の作品展。

# 第1回介護予防大会 認知症予防の大切さ学ぶ

市では、11月26日、烏山公民館で第1回介護予防大会を開きました。市民や地元高齢者福祉施設職員等190人が参加しました。大会は、関係者の連携を図るとともに、これから迎える超高齢社会において、認知症の予防がどれだけ大切であるかを市民や関係者に知ってもらおうと、講演や寸劇などで紹介するものでした。

宇都宮短期大学の古川和稔教授の「笑いで高齢化を乗り切ろう」と題する講演では、講師がプロのコメディアンだったこともあり、その巧みな話術で会場には常に笑



笑いが絶えない会場。

い声が響きました。

県消費者リーダー連絡会烏山支部 萩原宣子代表の寸劇「認知症になっても大丈夫」では、会員の迫真の演技に会場が引き込まれました。取り上げられたテーマが身近なものであり、「とても参考になった」と、参加者の関心も高かったようです。

烏山台病院認知症疾患医療センターの静野智隆相談員によるミニ講話や、抽選会なども行われました。会場には、ふれあいの里や脳元気教室、いきいきサロンの展示コーナーなども設けられました。



認知症をテーマにした寸劇。



パネラーによる討論会。

## 地域医療を守る会が討論会

南那須地域医療を守る会 米山正人代表では、11月17日、烏山公民館で「これからの地域医療・介護・福祉のあり方を考える」をテーマにパネル討論会を開き、会員や市民など約100人が参加しました。

当日は、市健康福祉課の網野榮課長がコーディネーターを務めました。パネラーは、那須南病院の関口忠司院長、七合診療所の本間真

二郎所長、訪問看護ステーションあいの横山孝子管理者、市地域包括支援センターの稲葉節子保健師、那珂川町健康福祉課の郡司正幸課長の5人でした。医療や介護、福祉などの立場から、今後の目指すべき方向性などが発表されました。米山会長は、「今後も地域医療を支える活動を続けていきたい」と話していました。

### 食育情報

#### 今月は… 『柚子(ゆず)』



11月～1月の寒い季節が旬の『ゆず』。独特のさわやかな香りと色合いが、食欲をそそります。皮を煮物などに添えるほか、ゆず味噌・漬物・マーメイドにしたり、果汁の酸味を生かして酢の物やデザートにしたりと、季節を彩る料理の引き立て役となる食材です。

#### 『ゆずの』がスゴイ

『ゆず』には、寒い冬・忙しく疲れがたまる年末にうれしい栄養素がたくさん含まれています(下表参照)。そのほか、香り成分にはリラックス効果があるといわれています。冬至にはゆず湯に入る習慣がありますが、皮ごとお風呂に入れることで成分がお湯に溶け出し、様々な効果が期待できる、冬にぴったりのお風呂になります。

年末は、家族そろってあったかいゆず湯にゆづ料理で食卓を囲み、いかがでしょう。今年の寒い冬も元気に乗り切りましょう。

#### 健康福祉課

☎0287-88-7115

栄養素	効能等
ビタミンC	風邪予防・免疫力アップ・美肌効果。果皮部分は果汁の約4倍！
ビタミンP	ビタミンCの吸収を助ける
ビタミンE	血行改善・冷え性予防
クエン酸	疲労回復・胃痛や胸やけ予防効果・カルシウムや鉄分の吸収率アップ・殺菌効果等

市指定文化財

か も じん じゃ  
加茂神社の  
けん がく え ま  
献額・絵馬群(月次)



烏山藩主大久保忠成直筆の献額



三仙図絵馬

月次の加茂神社は、鴨若雷命を主祭神とし、五穀豊穡の作神、雷神、雨乞い信仰で古くから崇敬され、通称「鳴井さん」として多くの信者や遠方からの参拝客でにぎわいました。

また、歴代領主の信仰も篤く、現在でも奉納された献額や絵馬を数多く見ることができ、烏山藩主大久保忠成(5代藩主)直筆の献額を始め、宇都宮の画人菊地愛山が描いた大絵馬なども含まれています。それら献額・絵馬群は、加茂神社の歴史や、神社と信者との関係を示す民俗的な資料として、大変貴重なもので、特に価値が高いと判断された18枚が文化財に指定されています。

■生涯学習課 ☎0287-88-6223

## シリーズ「認知症を知らう！」⑨

## 「介護サービスを上手に利用しよう」

認知症の人や介護する家族が、地域で安心して生活していくためには、「介護保険サービス」などを上手に利用することが大切です。介護サービスは、大きく分けて「在宅サービス」「施設サービス」「地域密着型サービス」に分かれています。

## 在宅サービス

【ホームヘルプ】ヘルパーに訪問してもらい、食事・入浴・排せつ介助等の身体介護や調理・掃除・洗濯等の生活援助が受けられます。軽度の認知症なら、一人暮らしでも生活支援を受けながら生活できます。

【デイサービス(デイケア)】施設に通い、食事や入浴などの日常生活の支援や、リハビリが受けられます。定期的に出かけ、他の人とかわかることで脳の活性化につながります。

【ショートステイ】施設に短期間入所して、日常生活の支援やリハビリなどが受けられます。家族が出かける時等、安心して利用できます。

訪問看護、訪問入浴、訪問リハビリ等のサービスもあります。

※自宅を訪問してもらう訪問系サービスや、施設に通って受ける通所系サービスがあります。心身の状況や介護者の状況により、サービスを組み合わせて利用することができます。

## 施設サービス

【特別養護老人ホーム】日常生活において常時介護が必要で、自宅介護が困難な人が利用できます。

【老人保健施設】医療上のケアやリハビリを行い、家庭での生活復帰を目指す人が利用できます。

【養療病棟】急性期の治療が終わり、長期療養が必要な人が利用できます。

※介護が中心か治療が中心かなどによって施設を選択し、直接施設に申し込んで利用することができます。

## 地域密着型サービス

【小規模な施設サービス】定員30人未満の小規模な施設に入所し、食事・入浴・リハビリ等の支援が受けられます。

【認知症高齢者を対象としたサービス】認知症の高齢者が、共同生活をする住宅(グループホーム)で、スタッフの介護を受けながら、食事・入浴・リハビリ等の支援が受けられます。

※住み慣れた地域での生活を続けるために、地域の特性に応じたサービスがあります。現在市内にあるのは上記の2種類のサービスです。

このほかにもいろいろな介護サービスがあります。サービスを利用するためには、介護保険の認定を受けることが必要です。申請方法やサービスの詳細は、地域包括支援センター(健康福祉課内 ☎0287-88-7115)へお問い合わせください。



鳥山高校で11月10日、「第3回鳥山高持久走大会」が開かれ、全生徒568人が参加しました。

## 鳥山高校で持久走大会 全校生徒が限界に挑戦

この大会は、持久走を通して体力の充実と体力の増強を図り、根気強く努力する態度を養うのがねらいです。同校の校庭をスタートし、市内を一周して再び校庭に戻る男子が14・8 km、女子が7・7 kmのコースでした。

当日は、晴天に恵まれ、午前10時20分に男子、5分後に女子がピストルの合図で一斉にスタート。沿道では多くの市民が、自分の限界に挑戦して力走する生徒たちに温かい声援を送っていました。

なお、大会には100人近い保護者が協力し、コースの警備や生徒たちに提供する豚汁の準備などにあたりました。



市育樹祭り(11/12)。

## まちの話題

◇「広報那須鳥山」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材にうかがいます。

総合政策課秘書広報係  
☎0287-83-1112



多くの人が新そばを堪能。

## 大木須新そばまつり盛況

「大木須新そばまつり」が、11月24日、オオムラサキ公園で開かれました。里山を地域活性化に役立てようと「里山おおぎすを愛する会」(堀江総会長)が主催したものです。当日は、新そばを堪能しようと、市内外から約1千人が来場。鳥山中学校郷土芸能部のお囃子が、盛況な祭りに華を添えました。



次々とステージに立つ出演者。

## 歳末たすけあいチャリティーショー 自慢ののどや踊りを披露

鳥山地区民俗文化奉仕協会(齋藤総会長)では、11月4日、「第35回歳末たすけあいチャリティー

ショー」を鳥山公民館で開きました。

当日は、歌謡、舞踊、詩吟など約100のプログラムが、各出演

### 宮原保育園児

## 勤労感謝で市役所を訪問

「勤労感謝の日」にちなんで、11月22日、宮原保育園児6人が市役所を訪れました。当日は、年長組の園児たちが、日頃の感謝の気持ちを込



手作りのマグネットをプレゼント。

者により次々と披露されました。式典で齋藤会長は、「皆さんの温かいご支援に感謝する。今後ともチャリティーを継続していきたい」とあいさつ。出場者や観客から寄せられた募金は、社会福祉協議会に寄付されました。

# 八ヶ代 収穫祭 10mの長巻寿司作り

今年で10回目となる「八ヶ代収穫祭」が、11月25日、八ヶ代コミュニティセンターで開かれ、地域住民230人が参加しました。これは、地域交流を目的に八ヶ代自治会(中山茂廣会長)が主催したものです。

今年、長さ10メートルの長巻寿司作りに初挑戦。みんなが協

力しあえば、色々なことができる  
と企画されたものでした。自治会内の13班と老人会に分かれての、地元産そば粉を使ったそば打ちも行われ、お昼にはそれらを食べながら、秋の収穫を祝いました。中山会長は、「みんなで作って、みんなで食べる喜びを感じてもらえたのでは」と話していました。



大勢の手による長巻寿司作り。

## 鴻野山で新旧住民が交流

鴻野山自治会ぐるみ会(豊岡久夫会長)では、11月3日、鴻野山地区公民館で収穫祭を開き、地域住民

600人が参加しました。

豚汁、つきたて餅、釜戸炊きおにぎり  
が提供され、サンマの塩焼きも

人気でした。カラオケ大会や歌謡ショー、バザーなどもありました。豊岡会長は、「この地区には住宅団地があるため、新旧住民の交流を図っていききたい」と話していました。



もちつきに興味津々。

## 曲畑で運動会と芸能大会

曲畑自治会などによる実行委員会(渡邊廣一委員長)が、11月25日、26回目の「そりはた ふれあいまつり」を地区の自治公民館で開き、子どもからお年寄りまで200人が参加しました。

当日は、運動会、防災や交通安全に関する教室、芸能大会など、多彩な催しを実施。手作り料理や農産物、バザーの売り上げの一部は社会福祉協議会に寄付されました。渡邊委員長は、「隣近所でも疎遠となりがちな時代。この事業で、地域の人たちの親睦が図れた」と話していました。



玉入れを楽しむ。

## 大桶中の感謝祭で輪投げ

今年で4回目となる「大桶中収穫感謝祭」が、11月25日、同地



人気の輪投げゲーム。

区公民館で開かれ、地域住民120人が参加しました。地域交流を目的に大桶中自治会、育成会などによる実行委員会(高野悟委員長)が主催したものです。

人気の催しは、7班対抗の輪投げゲームでした。感謝コーナーでは、杵つきもちや手打ちそば、豚汁などが振舞われました。高野委員長は、「みんなが毎年この日を楽しみにしてくれている。これからも地域の絆を大切にしていききたい」と話していました。

## 横枕で焼き芋祭り

横枕青年団(生魚貴宏団長)では、11月17日、横枕伝承センターで「焼き芋祭り」を開き、多くの地域住民が秋の味覚を楽しみました。

当日は、来場者に焼き芋やサツマの天ぷらが無料で配られました。小雨がちらつく寒い日でしたが、センター内では、熱々の焼き芋などを手にする、家族連れなどの会話が弾んでいたようです。焼きそばや豚汁などの模擬店、特殊絵の具のデインプルアート体験なども人気でした。



センター内で秋の味覚を堪能。

## おめでた

赤ちゃん名 (保護者) 住所  
 佐藤 一 颯 (芳和・理加) 下 境  
 五月女 馬 広 (博明・まゆみ) 谷 浅 見  
 関 谷 愛 莉 (利彦・明子) 神 長  
 栗 田 楓 乃 (和幸・紘子) 志 鳥  
 川 勾 悠 乃 花 (直之・由美子) 南 1 丁 目  
 伊 藤 蓮 (康介・彩) 滝 田  
 小 林 ほ の か (佑也・美紀) 小 倉  
 羽 石 統 真 (剛章・和香) 上 境  
 ※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

## スポーツの結果

●第1回関東地区少年空手道選手権大会(10月28日、アリーナたぬま)  
 【小学1・2年女子組手】▽準優勝：片岡 愛裕

## 剣道スポーツ少年団 グッドマナー賞を受賞

本市の剣道スポーツ少年団が、11月11日に県武道館で開かれた第35回栃木県スポーツ少年団剣道交流大会兼第35回全国スポーツ少年団剣道交流大会予選会において、「グッドマナー賞」を受賞しました。

この賞は、団体戦出場チームの中から、礼儀作法や試合態度が優れ、他の模範となる1チームに贈られたものです。

団体戦出場選手に盾を伝達。



●平成24年度秋季婦人バレーボール大会(10月22～26日、烏山体育館他)  
 ▽優勝：藤田▽準優勝：屋敷ミストレル  
 ス▽第3位：中央北

●平成24年度男女混合市民バレーボール大会(11月5～9日、荒川中体育館他)  
 ▽優勝：からーす▽準優勝：中央北▽第3位：S L C

## ご寄付ありがとうございました

■奨学基金寄付金  
 秋山久様(東京都小平市)から2万円が寄付されました。

※市では、ふるさと納税制度による寄付金を「ふるさと応援基金」としてお預かりし、寄付者が希望する事業に活用しています。優遇措置等、詳しくは、市ホームページ「ふるさと納税」をご覧ください。

## 広告掲載募集中

市では、「広報那須烏山」紙面への広告掲載を募集しています。

### ■掲載基準

位置：各ページの最下段(表紙除く)

サイズ：縦4.7cm×横8.4cm

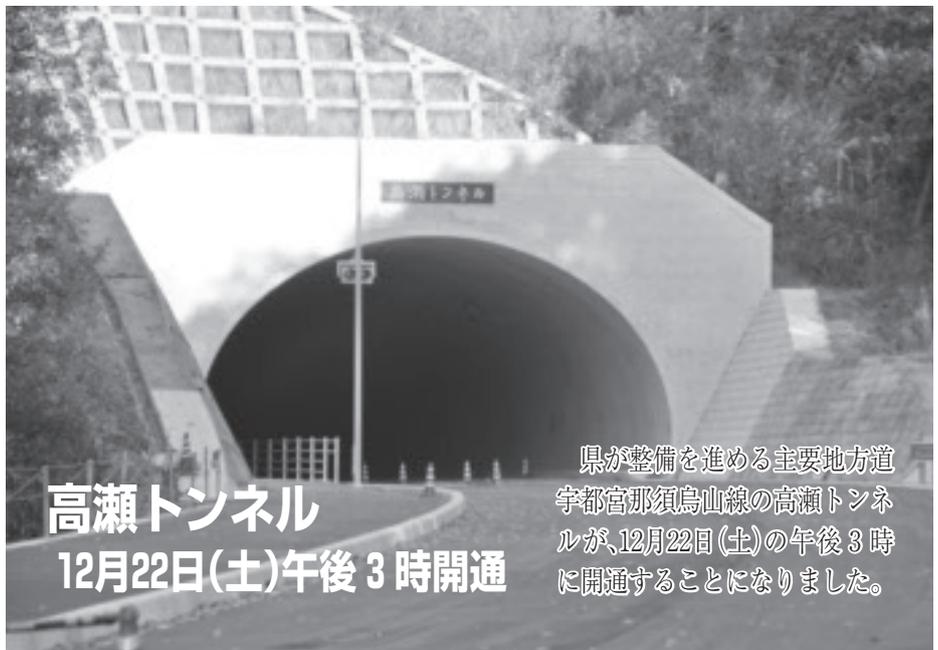
料金：2色1回5千円

カラー1回1万円(裏表紙)

申込：掲載希望の前月10日まで

詳しくは、総合政策課秘書広報係(☎0287-83-1112)にお問い合わせください(内容等によって掲載できない場合もあります)。

なお、「広報お知らせ版」への広告掲載や、市公式ホームページへのバナー広告掲載も募集しています。



## 高瀬トンネル

12月22日(土)午後3時開通

県が整備を進める主要地方道宇都宮那須烏山線の高瀬トンネルが、12月22日(土)の午後3時に開通することになりました。

## 市イメージキャラクターイラストご応募ありがとうございました

市のイメージキャラクターイラスト募集に502点の応募がありました。多数のご応募ありがとうございました。選考結果は、2月8日(金)に市ホームページ及び広報那須烏山2月号で発表するとともに、受賞者には直接通知します。

■総合政策課 ☎0287-83-1112

## 市内農林水産物等の 出荷制限状況

県では、放射性物質のサンプリング調査を実施しています。12月1日現在的那須烏山市の出荷制限品目は次のとおりです。

○出荷制限品目 ( )は指定日

原木なめこ(露地)(H24.11.16)

野生きのこ(H24.10.11)

こしあぶら(野生)(H24.5.1)

原木生しいたけ(露地)(H24.4.11)

乾しいたけ(原木栽培)(H23.11.30)

原木くりたけ(露地)(H23.11.14)

いのししの肉・しかの肉(H23.12.2)

■農政課 ☎0287-83-1231

## 市の人口 2012.11.1現在 ( )対前月比

人口 28,300(+21)

男 13,914 女 14,386

出生 18 死亡 25

転入 60 転出 32

世帯数 9,611

※平成22年国勢調査を基に集計した統計人口です。

## 編集後記

○師走に入り、市内でも雪が舞いました。短時間ではありましたが、一面の銀世界に娘も大はしゃぎでした。いよいよクリスマス。アニメグッズにはまる娘は、テレビCMやチラシを見て「ほしいな～」を連発。でも、その口調は、なぜか妻に似ている気がします…(K)  
○クリスマスプレゼントを用意し、納戸に隠しました…が子どもの直感は鋭く11月中に発見されました。長男の「サンタは枕元でなく、なぜ納戸へ入れたのか」との質問。答えはまだ私には導きだせそうにありません。早く忘れてほしいなあ…(N)

○イメージキャラクター、皆様からのたくさんのご応募ありがとうございました。本当に素晴らしい作品ばかりで選考が難航しそうです。(うれしい悲鳴ですが(^□^))ゆくゆくは、コンテストに出場…なんてちょっと気が早いですかね!(A)

# 新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204

烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★こちらで新着図書が検索できます。★

<http://www.lib-nasukarasuyama.jp/>

### ●一般図書●

『あなたの中のなんでも叶える「魔法の力」』 佳川 奈未

『のぼうの姫』 三池 純正

『新島八重のことがマンガで3時間でわかる本』 津田 太愚

『コケの自然誌』

ロビン ウォール キマラー

『県別対抗!関東周辺ご当地&B級グルメ』

『高杉さん家(ち)のおべんとうもふーっとなるHappyレシピ』

『わが友の旅立ちの日に』安野 光雅

『江神二郎の洞察』 有栖川 有栖

『七つの会議』 池井戸 潤

『七緒のために』 島本 理生

『月の輪草子』 瀬戸内 寂聴

『母性』 湊 かなえ

『陰陽師 酔月ノ巻』 夢枕 獏

『だいじょうぶ3組』 乙武 洋匡

『十津川警部西伊豆変死事件』

西村 京太郎

### ●児童図書●

『びっくり!!トリックアート 8』

『日本の神さま絵図鑑 1』

『ディズニーの名作10話』 赤坂 行雄

『ツリーさん』 新井 洋行

『チャレンジミッケ! 9』

ウォルター ウィック

『からっぽのくつした』

リチャード カーティス

『木のまつり』 新美 南吉

『クリスマスくろくま』 たかい よしかず

『ベネロベおねえさんになる』

アン グットマン

『ふるさとはフクシマ 子どもたちの3.11』

## 川柳

篠崎 酔月 選

物売りの電話へ主人留守と言ひ

宮嶋 トキ(金井)

自己流の生花他人が誉めてくれ

滝口 リン(志鳥)

健康の証鍛えた足と腰

羽石 妙子(向田)

この頃は食の心配放射能

塩谷ヨツイ(田野倉)

## 俳句

齋藤 穂選

秋便り標高二千のポストから

中村佳常代(田野倉)

一刷毛の雲を浮べて天高し

杉原キミヨ(志鳥)

秋ざくらこぼさぬやうに回覧板

高野 久子(大桶)

夕焼の過疎地の中の一軒家

高德 美井(大金)

## 文芸

### 短歌

福澤 悦子 選

○通知簿の丙の評価にもり上がる八十路の乙女ら卓を囲みて

吉澤 紅月(南)

○ふるさとの墓に集える四姉妹父母の面影タリヤに揺れて

田島 静子(中山)

○実り田の黄金の波消え失せてきざみ菓のみ枯れて残れり

水上キヨ子(志鳥)

○同世代の多くが逝きて残る吾孤独に耐えて生きるさびしさ

山崎 伸衛(滝田)

### 作品募集

毎月10日までに、総合政策課秘書広報係(〒321-1069 那須烏山市中央一丁目1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

## 2012イルミネーションin那須烏山

# 24万個の電球が夜空を彩る

「2012イルミネーションin那須烏山」が、12月1日から25日まで、市役所南那須庁舎前公園を会場に開催されています。この催しは、観光協会や市民ボランティアなどによる実行委員会（福田弘平委員長が主催するもので、今年から名称が改められました）

12回目を迎える今回の特徴は、公園中心の噴水池に設置されたフラミンゴ2体。環境に配慮し、1万球のLED化も進めました。10月31日から、実行委員会による会場の飾り付けが始められ、開催にこぎつけたものです。

初日の12月1日には、同会場で点灯

式が行われ、福田委員長や来賓など代表者5人がスイッチを押すと、24万個の電球が夜空を彩り、この日を楽しみにしていた大勢の観衆から大きな拍手が沸きました。

会場には、売店が毎日オープンされ、温かい飲み物などが利用できます。24日には、クリスマススイベントが企画され、来場先着200人の子どもたちにサンタクロースからプレゼントが贈られます。

なお、同実行委員会では、企画・運営などに協力してくれるボランティアを随時募集しています。

【開催】12月25日(火)まで

【時間】午後5時～9時

※荒天時は安全のため点灯を控える場合あり

【イベント】12月24日(祝)午後6時～雨天決行

■那須烏山市観光協会 ☎0287-84-1977



今回初登場のフラミンゴ。



多くの人が見守る中いよいよ点灯。



馬車に乗って幻想の世界へ。

秋も深まり、冬桜や紅葉などが見ごろを迎えました。11月の市内の様子を写真で紹介します。



泉溪寺のイチョウとモミジ。

## 晩秋を迎えた市内



秋の龍門の滝。



八溝県民休養公園の冬桜。



総合広告代理店 各種印刷

**(株)アド・ワークス**

チラシ・伝票印刷・看板

www.adworks.ne.jp

那須烏山市野上1162(寺澤太鼓店前)

**Call. 0287-83-8633**

有料広告